



新着図書案内11月号

愛知みずほ大学瑞穂高等学校
瀬木学園図書館
2018年11月9日

図解 眠れなくなるほど面白いシリーズ

- 『数学の定理』小宮山博仁監修 (410/ニ)
- 『確率の話』野口哲典著 (417.1/ノ)
- 『物理でわかるスポーツの話』望月修著 (780.11/モ)
- 『古事記』吉田敦彦監修 (913.2/ヨ)



スポーツの秋！！

- 『女性アスリートの教科書』須永美歌子著 (780.19/ス)
- 『卓球メンタル強化メソッド』平野早矢香著 (783.6/ヒ)
- 『ラグビー』岩出雅之監修 (783.49/イ)



だんだんと寒くなってきましたね。スポーツで身体を温めて寒さを乗り切ろう！！

『昭和の怪物七つの謎』保阪正康著 (281.04/ホ)



私の使命は、昭和前期から無謀な戦争に突入し、悲惨な敗戦を迎えるまでの記録と教訓を、次世代に繋げることだと考えている、と昭和史研究の第一人者の筆者は言いました。著者が出会った「戦争の目撃者たち」である東條英機、石原莞爾、犬養毅、渡辺和子、瀬島龍三、吉田茂が残した「歴史の闇」に迫ります。

- 『思春期の女の子が親に求めていること』中野日出美著 (379.9/ナ)
- 『思春期の男の子が親に求めていること』中野日出美著 (379.9/ナ)



3000組以上の親子関係を見てきた心理セラピストが「心と体」「友だち関係」など5つの側面から、思春期特有の問題をやさしく解説します。親がどんなことに悩んでいるのか知ること、より良好な親子関係を築くヒントになるかもしれません。

『世界毒草百科図鑑』エリザベス・A.ダウンシーほか著 (471.9/ダ)



毒成分の人への効能から歴史的背景まで紹介したヴィジュアル百科です。心臓に作用する毒、脳を破壊し、筋肉を攻撃する毒など、様々な植物の持つ毒をキュー王立植物園出身(250年に及ぶ歴史を持つイギリスの世界遺産)の専門家がエピソードを交えながら詳細な図版とともにわかりやすく紹介。また毒を薬に用いるための方法など、「毒の使い方」まで言及した一冊です。

『「自己肯定感」が低いあなたが、すぐ変わる方法』大嶋信頼著 (498.39/オ)



あなたは自己肯定感が低いですか？高いですか？あなたがつまずいてしまう原因は、自己肯定感の低さかも？！この本は、大人気カウンセラーが自己肯定感が高い人そして低い人の特徴を書きながら、簡単に自己肯定感を上げて「おいしい生活」ができる方法、「自分はダメ」から抜け出す方法を紹介しています。自分に自信がない思っている人に薦めたい本です。

『L.M.モンゴメリの「赤毛のアン」クックブック』ケイト・マクドナルド, L.M.モンゴメリ著 (596/マ)



世界中で愛される「赤毛のアン」。L. M. モンゴメリの孫娘ケイト・マクドナルドが、物語に出てくる料理をヴィジュアル料理ブックにしました。物語のシーンがよみがえる料理写真や、アンのお話の舞台となったプリンスエドワード島の写真やイラスト、小説からの引用などを加えた可愛らしいレシピブックです。

『グリム童話99の謎』桜澤麻衣著 (909.3/サ)



聖書に次ぐ世界的ベストセラーといわれる「グリム童話」。残虐・拷問・殺人・悪意・性描写・激しい兄弟愛など、グリム童話の原点は子ども向けとは思えない内容でした。では、なぜ子どものための童話集にこれほど残酷な話や、性を暗示する話が収録されることとなったのか？残酷さゆえに消し去られた話も掘り出してその謎に迫ります。

『鏡の背面』篠田節子著 (913.6/シ)



薬物や性暴力によって心的外傷を負った女性たちのシェルター「新アグネス寮」で発生した火災。「先生」こと小野尚子は入居者を助け、死亡。スタッフとしてふさわしい最期を悼むなか、死体は別人だと発覚した。指導者を失ったシェルター内では、じわじわと不協和音が広がっていく。疑念渦巻く女の園、傑作長編サスペンス！

『沈黙のパレード』東野圭吾著 (913.6/ヒ)



探偵ガリレオシリーズ、6年ぶりに再始動！遺体となって発見された町の人気娘。容疑者の男は、証拠不十分で釈放されてしまう。さらにその男が、遺族たちの前に現れたことで、町全体を憎悪と義憤の空気が覆う。秋祭りのパレード当日に決行された復讐劇はいかにして遂げられたのか。殺害方法は？アリバイトリックは？超難問に突き当たった草薙は、アメリカ帰りの湯川に助けを求める。

『洪水の年 上・下』マーガレット・アトウッド著 (933.7/ア/1~2)



人口世界に突如襲い掛かる新型ウイルス。地上は廃墟となり、偶然生き残ったトビーとレンは、それぞれの隠れ家で固唾を呑んで様子を窺う。圧倒的な構想力と息もつかせぬストーリー展開で読ませる近未来小説。

新着DVD案内

『ちはやふる～結び～』



絶対に忘れられない最後の戦いがここに完結！瑞沢高校競技かるた部の創部から高校1年の夏の全国大会までを描いた〈上の句〉〈下の句〉に続く、実写映画「ちはやふる」の第3部〈結び〉。あれから2年、かるたから離れていた新だったが、千早たちの情熱に触れ、全国大会で千早と戦うことを決意する。一方、高校3年最後の全国大会を目指す瑞沢かるた部だったが、予選を前に突然、部長の太一が辞めてしまう。千早、太一、新は、再びかるたで繋がることのできるのか？